

視点

給付削減一本槍でない 社会保険料の軽減

現役世代の手取りを増やすとして、社会保険料を軽減する政策が若年層中心に支持を得ている。その方策として、高額療養費の見直し、市販類似薬の給付見直し、負担能力に応じた窓口負担等が粗上に載っているが、給付を削減し、病人に負担を被せるものが多い。

この政策を支持する若年層や中間所得層に刺さる社会保険料の軽減策としては、財政調整の方法や保険料の取り方の見直しもあるのではないか。

具体的には、前期高齢者納付金の報酬調整の拡大がある。被用者

保険間では3分の1の報酬調整だが、後期高齢者支援金同様、全面的な報酬調整にすれば、相対的に所得が低い協会けんぽや総合健康保険組合の保険料は軽減される。

協会けんぽは、令和6年度決算で約6600億円、準備金は給付費等の6・6か月分相当の約5兆9000億円を見込む。ようやく内部でも保険料軽減も視野に入れた検討が始まったが、黒字分で被保険者1人2・6万円の保険料軽減になる。医療保険は短期保険であり財政状況に応じた保険料の調整は最も重要な保険者機能だ。

また、公的年金等控除の見直しもある。国保では、公的年金等控除で高齢者の保険料が軽減される分、非正規等中間所得層に過重な負担となっており、控除を縮小し賦課ベースを上げれば、中間層の保険料は軽減される。

制度の持続可能性の確保には、給付削減も必要だろうが、それを唱道する保険者や財務省にも課題を与え、相対的に財政力のある保険者や所得層と病人との間でどう負担を分かち合うのか、給付削減一本槍でない視野の広い検討が必要ではないか。

社会保険旬報

目次

No.2978 2025年10月11日

視点

給付削減一本槍でない

社会保険料の軽減 3

座標

病床転換助成事業を全一般病床に拡大

小児周産期医療提供体制を議論 4

社保の適用拡大は企業6割適用方針

大学病院の経常利益が▲508億円 5

特別鼎談

医薬品の安定供給と創薬力強化に向けて

～国民・患者が求める医薬品を

提供するために～

遠藤久夫 安川健司 安中健 ... 6

ジュネーヴからの便り²⁶

モンブラン・トンネル

中谷祐貴子 ... 17

論評

これからの基礎年金を考える（下）

—基礎年金に少子化対策加算を組み込む

喜多村悦史 ... 18

潮流

物価・賃金対応の新たな仕組みを提案 ... 23

中医協・入院医療等分科会の検討結果 ... 24

在宅医療等ワーキンググループが初会合 ... 26

医療保険部会が改定の基本方針議論 28

健保組合6年度決算は145億円の黒字 ... 30

全国総合健保組合協議会が総会 33

医療事故調の課題への対応策で方向性 ... 34

健保連が高額レセプトを集計 35

電子処方箋の導入補助、来年9月まで ... 36

資料

診療報酬改定の基本方針について

基本方針と改定項目の整理(2024年度改定)

..... 39

雇用・労働の動き 41

編集室・ワードカプセル 42